

投資環境と運用方針について

インフラ関連グローバル株式ファンド 愛称 にいがたインフラサポート
追加型投信／内外／株式

2022年2月15日

- 当ファンドの設定(2021年12月20日)以来の株式市場は、年初までは昨年の堅調な流れを引き継ぎ上昇で始まりましたが、米国の金融引き締めに対する警戒感から長期金利が上昇、加えて利上げペースの加速が懸念され、幅広いセクターで下落しました。
- 当ファンドの基準価額は、設定から年初までは堅調に推移しましたが、その後下落し、1月末の基準価額は9,183円、設定来-8.17%となりました。
- 「環境インフラ」や「デジタルインフラ」に組み入れていた成長銘柄が下落の主要因となりました。
- 当レポートでは、投資環境、利上げ局面に対する考え方、運用経過および今後の運用方針についてご説明します。

投資環境

図表1は、日本、米国、欧州の株価指数を設定日(2021年12月20日)を100として示した図表です。

設定直後から1月月初までは欧米を中心に堅調な動きとなりましたが、その後は、今後の利上げ動向などの先行き不透明感から日米欧ともに下落しました。

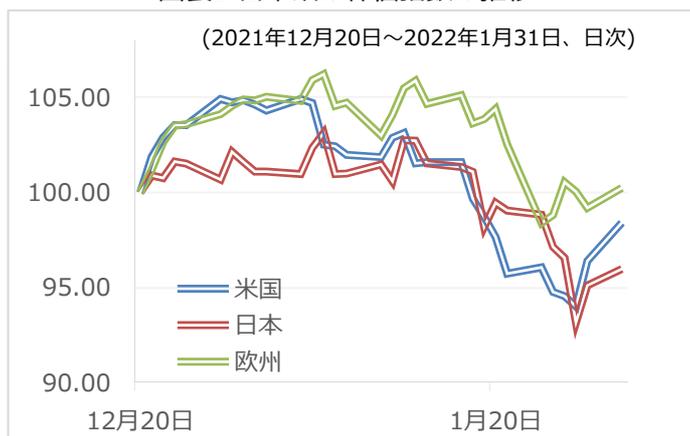
(出所)Bloombergデータより岡三アセットマネジメント作成
※米国はMSCI 米国、日本はMSCI 日本、欧州はMSCI 欧州 の米ドル建て指数です。
※2021年12月20日を100として指数化しています。
※上記の株価指数は、MSCI Inc.が算出している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。

図表2は設定来の基準価額と純資産総額の推移です。堅調な企業業績を発表した台湾のTSMC、本格的なEV参入を発表したトヨタ自動車、フランスの発電所を手掛けるエンジー、米国で救急病院などを手掛けるユニバーサル・ヘルス・サービスなどがプラス寄与した一方、下記の2テーマが下落の主要因となりました。

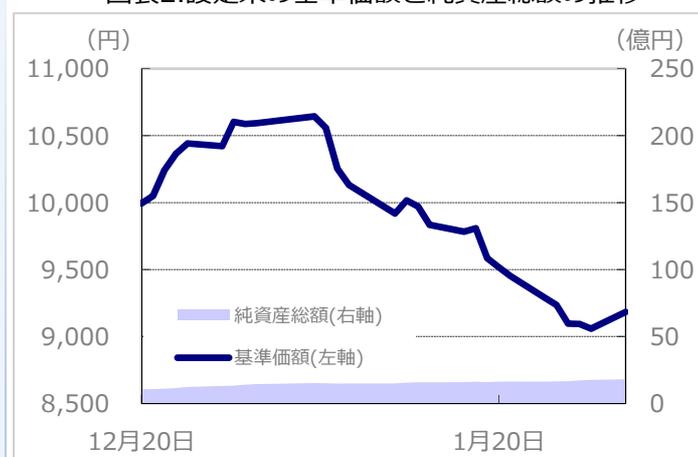
「環境インフラ」テーマ：EV(電気自動車)やクリーンエネルギー関連の成長銘柄で、景気後退への懸念から多くの組み入れ銘柄が下落しました。

「デジタルインフラ」テーマ：半導体関連やソフトウェアなどテクノロジー株が下落の主要因となりました。

図表1.日米欧の株価指数の推移



図表2.設定来の基準価額と純資産総額の推移



※基準価額は1万円当たり、作成基準日現在、年率1.705% (税抜1.55%) の信託報酬控除後です。
※グラフは過去の実績であり、将来の成果を示唆または保証するものではありません。

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はおお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

投資環境と運用方針について

インフラ関連グローバル株式ファンド 愛称 にいがたインフラサポート
追加型投信／内外／株式

2022年2月15日

米国の利上げ動向が注視される

1月5日発表のFOMC(連邦公開市場委員会)議事要旨で市場が予想していた以上のタカ派スタンスが示唆されたことで、市場では大幅な金利上昇への警戒感が高まりました。

昨年12月末時点では2023年2月会合までに3回程度の利上げ、FF金利先物レートは0.874%の金利水準を織り込んでいましたが、その後、1月末時点では5回程度の利上げが見込まれる展開となり、FF金利先物レートは1.382%の水準まで上昇しました。(図表3)

加えて、3月以降毎回の利上げ実施の可能性も出てきたことで、急速な金利上昇が懸念されました。(図表4)

図表3.市場の利上げ織り込みの推移

	12月末時点	1月末時点
利上げ回数	3.175回	5.194回
FF金利先物レート	0.874%	1.382%

図表4.1月末時点での市場の利上げ織り込み



(出所)Bloombergデータより岡三アセットマネジメント作成

過去は、利上げ局面でも中長期的には上昇トレンドを維持

前回の利上げ局面は2015年12月～2018年12月の3年間で、9回、計225bps(100bps=1%)の利上げが行われました。(図表5)

図表6は、前回利上げ局面時のMSCIワールド指数と米10年国債利回りの推移です。利上げ前後に株式指数は弱含む場面が見られましたが、堅調な企業業績に後押しされる形で、中長期的には上昇に転じています。

1月の株式市場の下落も、前回利上げ前後にみられた調整と同様な展開になると考えています。金融引き締めが経済活動全般に与える影響が懸念され、一時的な調整局面が当面の間継続する可能性があるものの、その後は落ち着きを取り戻すと見ています。

図表5.利上げ推移

利上げ時期	利上げ幅
2015/12/17	25bps
2016/12/15	25bps
2017/3/16	25bps
2017/6/15	25bps
2017/12/14	25bps
2018/3/22	25bps
2018/6/14	25bps
2018/9/27	25bps
2018/12/20	25bps

図表6.MSCIワールド指数と米10年国債利回りの推移



(出所)Bloombergデータより岡三アセットマネジメント作成

※上記の株価指数は、MSCI Inc.が算出している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はおお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

投資環境と運用方針について

インフラ関連グローバル株式ファンド 愛称 にいがたインフラサポート
追加型投信／内外／株式

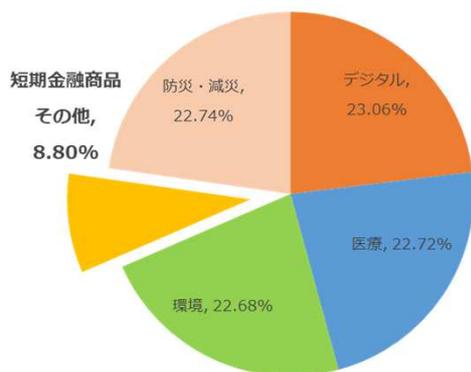
2022年2月15日

設定来の投資行動

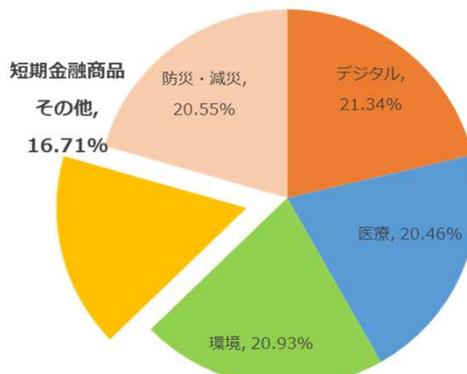
前述の投資環境を鑑み、価格変動リスクを抑えるために以下の2つの対策を打っています。

- ①1月上旬までは株式組入比率を90～95%としてきましたが、その後は短期金融商品その他の(現金等)比率を高め、株式組入比率を80～85%程度としました。
 - ②景気敏感株や高バリュエーション銘柄のウエイトを下げ、一部をバリュー株へシフトしています。
- ①、②を実施した結果、1月末時点での株式組入比率は83.29%、短期金融商品その他の比率は16.71%となりました。また、各テーマの比率は、それぞれ20%程度としました。

図表7.2021年12月末構成比



図表8.2022年1月末構成比



※四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。

今後の運用方針

今後の運用方針として、現在のポートフォリオに加え、業績が安定し、配当や自社株買いなど株主還元を積極的に行っている銘柄などについても買い付けを進める予定です。また、市場動向や決算状況等を踏まえ、徐々に株式組入比率を引き上げる予定です。

中長期的には、当ファンドが投資対象とするインフラ関連企業の高い成長が期待されます。橋や道路、建物などの「従来型インフラ」には災害に強い強固な建築物へのニーズや老朽化対策、さらに新興国の都市計画などの需要があり、また、5Gや半導体などの「次世代型インフラ」は次々と新しいサービスや技術が誕生し、市場拡大が継続して期待できます。今後長期間にわたって、インフラ分野には資金流入が見込まれます。

グローバルのインフラ関連企業には、高い技術力、商品開発力、競争力を持つ企業が多く存在します。銘柄選定においては、事業内容、成長性、収益性、財務状況などを勘案し、バリュエーションや流動性を考慮しながら、中長期的な視点から、ポートフォリオを構築することで、世界経済の成長に伴う長期で安定的なリターンを享受できるものと考えます。

作成：運用本部

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。



インフラ関連グローバル株式ファンド 愛称 にいがたインフラサポート
追加型投信／内外／株式

インフラ関連グローバル株式ファンドに関する留意事項

【岡三アセットマネジメントについて】

商号：岡三アセットマネジメント株式会社

岡三アセットマネジメント株式会社は、金融商品取引業者として投資運用業、投資助言・代理業および第二種金融商品取引業を営んでいます。登録番号は、関東財務局長（金商）第370号で、一般社団法人投資信託協会および一般社団法人日本投資顧問業協会に加入しています。

【投資リスク】

- 投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆様には帰属します。ファンドは、国内外の株式等値動きのある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替相場の変動により損失を被ることがあります。
- ファンドの主な基準価額の変動要因としては、「株価変動リスク」、「為替変動リスク」、「信用リスク」があります。その他の変動要因としては「流動性リスク」があります。

※基準価額の変動要因は上記のリスクに限定されるものではありません。

【その他の留意点】

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
- 投資信託は預金商品や保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりがあった場合も同様です。
- 取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金申込みの受付を中止することや、すでに受付けた購入・換金申込みの受付を取消すことがあります。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご参照ください。

【お客様にご負担いただく費用】

<お客様が直接的に負担する費用>

- 購入時
 - 購入時手数料：購入金額（購入価額×購入口数）×上限3.3%（税抜3.0%）
詳しくは販売会社にご確認ください。
- 換金時
 - 換金手数料：ありません。
 - 信託財産留保額：ありません。

<お客様が信託財産で間接的に負担する費用>

- 保有期間中
 - 運用管理費用（信託報酬）
：純資産総額×年率1.705%（税抜1.55%）
- その他費用・手数料
 - 監査費用：純資産総額×年率0.0132%（税抜0.012%）
- 有価証券等の売買に係る売買委託手数料、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、海外における資産の保管等に要する費用等を信託財産でご負担いただきます。（監査費用を除くその他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。）
- お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご参照ください。

販売会社

受益権の募集の取扱い、投資信託説明書(交付目論見書)、投資信託説明書(請求目論見書)及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。

商号	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
(金融商品取引業者)					
岡三にいがた証券株式会社	関東財務局長(金商)第169号	○			

<本資料に関するお問合わせ先>

フリーダイヤル **0120-048-214** (9:00~17:00 土・日・祝祭日・当社休業日を除く)